


 NANZAN
UNIVERSITY

南山大学図書館報


 ANAMIS

～デュナミス～

No.51 2007.4.1

CONTENTS

- | | |
|--|--|
| <p>1 私のお気に入りの場所 外国語学部教授：森山幹弘</p> <p>2 新入生のための図書館活用術 閲覧・参考係：二村 裕
図書館システムで使用するID・パスワードについて</p> <p>4 2007年度春学期図書館利用講習会開催のお知らせ</p> <p>5 名古屋図書館・瀬戸図書館の日曜開館について</p> <p>6 新規データベース LexisNexis at lexis.com
のご紹介 電子情報係：伊藤法子、杉山麻里</p> | <p>8 資料紹介〈1〉海外旅行や語学留学を考えている
みなさんへ… 図書選定委員：富増和可</p> <p>10 資料紹介〈2〉CSR 報告書 逐次刊行物係：西尾雅樹</p> <p>11 Essay 図書館に救われて 外国語学部講師：森 千香子</p> <p>12 新入生のためのライブラリーツアーのお知らせ
南山大学図書館新入生歓迎企画展のお知らせ
編集後記</p> |
|--|--|

 私のお気に入りの場所

森山 幹弘

人には一つや二つお気に入りの場所というものがあるものだ。くつろぐ場所、おしゃべりをする場所、思索の場所、その目的によってお気に入りの場所も変わってくるとは思う。私にとって、論文を書く時のお気に入りの場所が図書館である。参考文献にあたりながらラップトップを前にあれこれ考えるのだが、しばしば窓の外に目をやり何を見るでもなくぼーっとしていることがある。多くの着想はそういう時に得られる。図書館が私的な空間ではなく、他人の目がある公共の空間であることも、自分を律することが難しい私には案外大切な要因である。

しかし、その図書館はどの図書館であっても良いというわけではない。お気に入りの場所がそこに見つけられるような空間でなくては創造的な営みということも叶わない。私にとって元来図書館という空間は、小説などを読み耽る場所というよりも何かを学ぶ場所であった。高校生の時に受験勉強をした場所、大学に入学した頃に語学の予習をした場所、研究者として歩み始めようとした頃には資料を探す場所であった。その私の図書館「遍歴」の中で、今もって私が最も多くのインスピレーションを得られ、集中して文献に当たり、執筆できる場所というのはオランダのライデン市にある通称 KITLV（オランダ式にカー・イー・テー・エル・フェーと読む）研究所付属図書館である。現在の正式名称は「王立オランダ東南アジア・カリビアン研究所」となっているが、長い間 Koninklijk Instituut voor de Taal-, Land- en Volkenkunde（王立言語地理民族学研究所）を名称としていたために研究者の間では今もって KITLV と呼ばれている。しかし1851年の設立当

初は KITLV の後ろに蘭領東インド（Nederland Indie）がついており、植民地研究をその目的としていた。

KITLV の蔵書は、1868年に蘭領東インド協会（1854年設立）の蔵書を取り込み植民地図書館という名称の下にハーグ市にまとめられた。その図書館の蔵書は十九世紀のオランダ植民地政策を反映したものであり、やがて東インド（現在のインドネシア）だけでなく、当時オランダが保有していた中米の西インド諸島（スリナム、アンティル諸島）についての資料も収集されるようになった。オランダの植民地への関与の深さは、この他にも様々な学術研究機関があったことが示している。例えば、ジャカルタにはバタヴィア学芸協会、アムステルダムには王立熱帯研究所、そしてハーグ市には植民地省が置かれていた。現在のインドネシア国立図書館の蔵書もバタヴィア学芸協会のものを引き継いでいる。

KITLV 図書館のインドネシア関係図書の点数と質は世界一と言える。しかし、限られた地域の研究に特化した図書館である故に、非常にこじんまりとしていて、最初はその建物を見つけるのさえ難しい。地下に書庫を持ち、一階には5メートル×10メートルほどの閲覧室があるだけである。しかしその閲覧室にはインドネシア研究に必要な貴重な参考図書がびっしりと並べられており、自由に手に取ることができる。私はこの小さな閲覧室の一番奥の運河に面した窓際の席がお気に入りの場所である。問題は、名古屋からはちょっとばかり遠いことだ。

南山の図書館に早くお気に入りの場所を見つけた。 （Mikihiko MORIYAMA：外国語学部教授）

新 入 生 の た め の 図 書 館 活 用 術

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！

「あれもしたい、これもしたい」という知的好奇心や将来への夢が高まる時期だと思います。4年間という限られた時間ですが、是非夢を夢のままで終わらせるのではなく、行動に移して、充実した大学生活を送っていただきたいものです。

しかし、好奇心があるものの実際に行動に移すには何をしたらいいか、悩んで行き詰まることもあるかもしれません。

実際、やりたいことを具体的な行動に移すとなると、そのための知識やノウハウなどが必要になります。そんな時はまず図書館を活用してみてください。皆さんに力を貸すことができるかもしれません。

たとえば、

「将来ベンチャー企業を作るためのノウハウを知りたい！」

なんて夢を持っている人。知識がなければ、最初の一步を踏み出すことも困難です。

迷った時は、是非南山大学図書館で本を探してみてください。図書館の蔵書を検索する場合、南山大学図書館 Web ページ^{※1}から蔵書検索ボタンを押して、南山大学図書館蔵書検索用システム『NeoCILIUS Knowledge OPAC』^{※2}を利用してください。

■南山大学図書館の Web ページ

<http://www.nanzan-u.ac.jp/TOSHOKAN/>

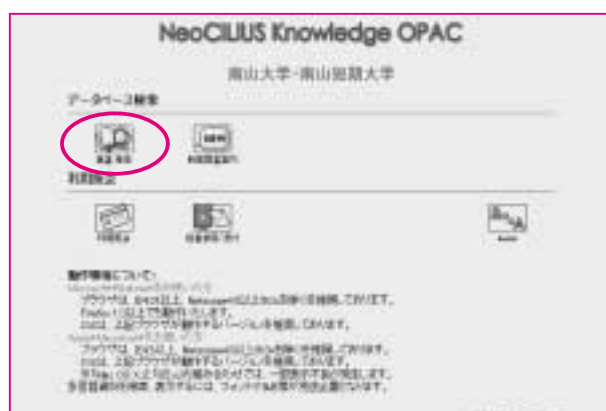
■ NeoCILIUS Knowledge OPAC

<https://alta.lib.nanzan-u.ac.jp/>

※1 南山大学図書館 Web ページ



※2 蔵書検索用システム「NeoCILIUS Knowledge OPAC」



ワード検索^{※3}画面の書名欄に、「会社」「設立」「事業」「ベンチャー企業」「入門」「ノウハウ」など思いついた用語のいくつかを組み合わせると、書名欄に入力したキーワードを含む資料が検索できます。

- ・『初めての人にもできる有限会社の設立・運営一切：小資本で事業を始めたい人のための必須ノウハウ』（請求番号：325.2K/1383 名古屋図書館所蔵）
- ・『ベンチャー企業論入門：会社設立から資金調達、M&A まで』（請求番号：335K/968 名古屋図書館所蔵）
- ・『株式会社設立ハンドブック』（請求番号：325.2K/1384 名古屋図書館所蔵）
- ・『だれでも分かる株式会社・有限会社の作り方』ビデオ（請求番号：330F/98/v.1-3 視聴覚ライブラリー所蔵）
- ・『アントルプレナー創造：最新ベンチャー経営入門』（請求番号：335L/881 瀬戸図書館所蔵）

※視聴覚ライブラリーは名古屋キャンパスL棟2階にあります。

※名古屋図書館、瀬戸図書館、南山短期大学図書館の資料は、所属キャンパスに取り寄せて利用することができます。

以上のような資料が簡易書誌一覧^{※4}に表示されますが、この中に夢を現実に変えるキッカケになる1冊が隠れているかもしれません。

※3 ワード検索



※4 簡易書誌一覧



さて、少しでも図書館に興味を持っていただけましたか。

今回は、南山大学図書館で所蔵している資料を検索しましたが、図書以外にも図書館 Web ページからは、電子ジャーナルや各種データベースを利用することができます。またレファレンス・カウンターをご利用いただければ、南山大学図書館の蔵書だけでなく、他大学・機関の図書を取り寄せること（相互貸借）や雑誌記事論文の複写を取り寄せること（文献複写）もできます。

まずは、実際に図書館を利用して慣れることが大切です。図書館の資料利用について迷ったら、お気軽にレファレンス・カウンターに相談してください。ご利用をお待ちしています。

□もっと南山大学図書館を知るには？

■南山大学図書館の利用ガイド

- ・「南山大学図書館利用案内」（4月に新入生全員に配布されます。）

■南山大学図書館 Web ページ

<http://www.nanzan-u.ac.jp/TOSHOKAN/>

（資料検索に役立つだけでなく、図書館からのお知らせや開催日程、開館時間なども掲載されています。）

■南山大学図書館の刊行物（図書館 Web ページより閲覧できます。）

- ・「南山大学図書館報 デュナミス」
- ・「南山大学図書館カトリック文庫通信 カトリコス」（カトリック大学としての特色を出すための刊行物です。）

■新入生向けの企画

- ・新入生のためのライブラリーツアー（名古屋図書館のみ。詳細は、p.12へ）
- ・新入生歓迎企画展「大学図書館ってどんなトコ？」～新入生のための図書館案内～（詳細は、p.12へ）

（Yu FUTAMURA：閲覧・参考係 二村 裕）

重要！ 図書館システムで使用する ID・パスワードについて

NeoCILIUS Knowledge OPAC では、「予約・取寄」や「利用照会」機能を使用する時に ID（学生番号）・パスワードが必要となります。初期パスワードの配布方法は以下のとおりです。

【名古屋キャンパスの新入生】

名古屋図書館カウンターで申請手続きをとることにより、初期パスワードを発行します。

【瀬戸キャンパスの新入生】

2007年4月入学生には、4月上旬の新入生ガイダンスで案内します。

2007 年度 春学期図書館利用講習会 開催のお知らせ

《名古屋図書館・瀬戸図書館共通》

質の高い論文やレポート執筆に役立つ、図書館を活用した文献探索の方法を学んでみませんか？
あなたに必要な文献を簡単かつ迅速に見つけられるようにするための講習会です。

個人・グループ向け講習会 (60分)

対象：学部生・院生

開催期間：4月16日(月)～7月13日(金)(土・日を除く) *先着順

- 予約制。申し込みは受講希望日の前日までにお早めに(受講日時は応相談)。
- 内容は、企業情報、新聞記事、海外の雑誌記事、法判例の検索など可能な限り柔軟に対応。
- 日程の関係で、下記「卒論執筆のための資料検索講習会」を受講できない方は、こちらをどうぞ。

卒論執筆のための資料検索講習会 (60分)

対象：4年生(2・3年生も参加できます)

開催期間：5月7日(月)～7月13日(金)(土・日を除く) *先着順

- 日時指定の予約制。詳しい日程は、図書館内の掲示や図書館 Web ページでお知らせします。(名古屋図書館と瀬戸図書館では開催日程が異なります。)
- 日本語の論文や雑誌記事を探す、欲しい資料の所蔵機関を調べる、学外の文献の入手方法、参考文献の見方のコツなど、論文作成に役立つ技法を紹介します。

ゼミ・授業単位の講習会 (90分)

開催期間：4月16日(月)～7月13日(金)(土・日を除く) *先着順

- 予約制。今年も初級・中級向けを開催。詳細は図書館 Web ページでご確認ください。人数・内容・時間など、ご相談に応じます。

各講習会の申込場所・方法

※詳細は申込時に図書館レファレンス・カウンターへお尋ねください。

申込場所		受講を希望するキャンパスの図書館レファレンス・カウンター
申込方法		レファレンス・カウンターへ申込書を提出してください。
問合せ先	個人	各キャンパスの図書館レファレンス・カウンター
	ゼミ・授業	名古屋図書館：閲覧・参考係 (内線262：illref@ic.nanzan-u.ac.jp) 瀬戸図書館：教育研究支援係 (内線4511：s-lib@nanzan-u.ac.jp)

名古屋図書館 瀬戸図書館 の日曜開館について

名古屋図書館では2007年度、授業および試験期間中の日曜日を試行的に臨時開館することになりました。

また、瀬戸図書館では、2005～2006年度の2年間、試行的に授業および試験期間中の日曜日を臨時開館しておりましたが、2007年度より正式に日曜開館を実施することとなりましたのでお知らせします。

● 開館日

2007年度の開館日程については、図書館カレンダー（各図書館入口掲示板、または図書館Web ページ <http://www.nanzan-u.ac.jp/TOSHOKAN/>）で確認できます。日曜開館実施日についても、図書館カレンダーで確認してください。なお、開館日程を臨時に変更する場合は掲示や Web ページでお知らせします。

● 開館時間

【名古屋図書館】

月～金曜日（授業日および試験日） （夏期集中講義期間を除く）	9：00～22：15
月～金曜日（授業日および試験日以外）と土曜日	9：00～20：00
日曜日（授業および試験期間中）	10：00～17：00

※レファレンス・カウンター受付時間

〈月～金〉 9：00～16：45 〈土〉 9：00～15：00

（日曜日、夏期事務一斉休暇中、年始等大学の定める事務休業日は受付しません。）

【瀬戸図書館】

月～土曜日（授業日および試験日） （夏期集中講義期間を除く）	9：30～21：00
月～土曜日（授業日および試験日以外）	9：30～19：00
日曜日（授業および試験期間中）	10：00～17：00

※レファレンス・カウンター受付時間 9：30～17：20

（土曜日、日曜日、夏期事務一斉休暇中、年始等大学の定める事務休業日は受付しません。）

◇貸出・返却の受付は閉館15分前で終了（日曜日も貸出・返却の受付を行います。）

◇授業・試験期間以外の日曜日、授業日でない祝日、夏期休暇中の土曜日、クリスマス休暇、年末年始等は休館。休館日は図書館カレンダーで確認してください。

新規データベース

LexisNexis at lexis.comのご紹介

2007年度より新規データベースとして LexisNexis at lexis.com を契約します。

法律では有名なデータベースですが、法学部・法科大学院の皆様はもちろん、それ以外の皆様にも広くご利用いただけます。右ページのトップ画面をご覧ください。判例から洋新聞、企業情報まで幅広い情報を網羅しています。

ログイン方法

ID、パスワード認証方式です。

図書館 Web ページからもご利用いただけます。

URL : <http://www.lexis.com/>

ID、パスワード：【利用について】を参照してください。

この ID、パスワードはご自宅などの学外からお使いいただけます。

【利用について】

※ LexisNexis at lexis.com の利用には、ID とパスワードが必要になりますので、ご希望の方は図書館レファレンス・カウンターでお申込みください。

なお、ID とパスワードの発行には2～3日掛かりますので、時間にゆとりを持ってお申込みください。

※以下の対象の方は全員に ID とパスワードをご用意していますので、身分証明できるものを持参の上、図書館レファレンス・カウンターにてお受け取りください。

2007年4月から利用可能です。

(事前発行対象者)・法学部および法務研究科所属教員全員

・法科大学院生全員

他のデータベースに関連する重要なお知らせです!!

～ Financial Times、Times of London を ProQuest から利用されていた皆様と
海外企業情報を Mergent Online から利用されていた皆様へ～

今年度より LexisNexis at lexis.com からの利用となります。洋新聞は収録年数も増えました。ご利用の方は上記【利用について】のとおりレファレンス・カウンターで申請を受け付けております。

～ Le Monde が使いやすくなりました～

LexisNexis at lexis.com の Le Monde は2006年1月分から記事収録があります。以前お使いいただいていたCD-ROMより使いやすくなりました。(2005年12月までの記事はCD-ROMをご利用ください。)

LexisNexis at lexis.com は法律のデータベースであるため、電子ジャーナル検索、企業情報検索についてはEBSCOhost、ProQuest とは検索方法がかなり異なります。法律も含め利用方法につきましては館内に設置のマニュアル、レファレンス・カウンターでの対応、そして講習会を予定していますので、積極的にご利用・ご参加ください。

LexisNexis at lexis.com のトップ画面

The screenshot shows the LexisNexis Total Research System interface. At the top, there are navigation tabs: Search, Research Tasks, Search Advisor, Get a Document, Shepard's®, Alerts, History, and Trial Display. Below these are links for Guided Search Forms and Command Searching. A 'Recently Used Sources' section is visible at the top right.

Annotations with arrows point to various parts of the interface:

- 企業情報を探す。洋新聞を見る。** (Search for company information. See foreign newspapers.) points to the 'News & Business' tab.
- 会社の登記情報を見る。** (See company registration information.) points to the 'Public Records' tab.
- 雑誌や論文を探す。(法学以外もあり)** (Search for magazines or papers. (Not limited to law.)) points to the 'Find A Source' tab.
- アメリカの判例** (American cases) points to the 'Cases - U.S.' section.
- 分野別での検索** (Search by category) points to the 'Area of Law - By Topic' section.
- 連邦の制定法** (Federal statutes) points to the 'Federal Legal - U.S.' section.
- 州の制定法** (State statutes) points to the 'States Legal - U.S.' section.
- アメリカ、イギリスの法案** (Bills in America, UK) points to the 'Legislation & Politics - U.S. & U.K.' section.
- 解説などの二次文献** (Secondary literature such as commentary) points to the 'Secondary Legal' section.
- 法律関係の論文** (Law-related papers) points to the 'Law Reviews & Journals' link under 'Secondary Legal'.
- アメリカ以外の判例** (Cases from outside America) points to the 'Global Legal' section.

A 'Key:' section at the bottom explains the icons used in the interface:

- Select a checkbox next to a source to combine it with other sources for searching.
- This source either can't be combined with other sources, or can't be combined with the sources you already have checked.
- Click the link next to these icons to see that folder's contents.
- Click the link next to these icons to search within that source.
- Click the link next to these icons to access that source.
- Click the link next to these icons to search with that form.
- Click the link next to these icons to access that TOC.
- Click the link next to these icons to access that product.
- Click to see information about this source.

(Noriko ITO : 電子情報係 伊藤 法子、Mari SUGIYAMA : 電子情報係 杉山 麻里)

資料紹介〈1〉

海外旅行や語学留学を考えているみなさんへ…

図書館には、学習・研究のための資料があるのはもちろん、皆さんの学生生活全般においても役立つ資料がいっぱいです。どんどん活用してください！

▼たとえば、海外旅行、ホームステイや語学留学などを考えている人におすすめの、こんな資料も所蔵しています。これをみて、旅行や留学にむけてのモチベーションを高めてみては？！

「フラヌール」シリーズ（全24巻） 名古屋図書館 1F：ブラウジング BROWG/2006

英会話教室 NOVA の語学教材として「ヨーロッパ」「アジア」「アメリカ・カナダ」「オセアニア」の4つの地域、24の街について刊行されています。内容は単なる観光地紹介のガイドブックに留まることなく、街の人々の様子や食べもの、文化、旅における基本情報までもが幅広く取り上げられています。

また、付録として CD-ROM または Web ページアクセス用のパスワードがついており、街の様子を動画で楽しむこともできます。

FLANEURS（仏：遊歩、遊歩者）という言葉どおり、散歩感覚でその街々の生の雰囲気を楽しむことができます。

▼ 各巻紹介

ヨーロッパ

1	PARIS（パリ）『パリの女性たちの朝昼夜』	CD-ROM 付き
2	SPAIN（スペイン）『飽きない都市生活』	CD-ROM 付き
3	LONDON（ロンドン）『クラシック＆モダンの生活』	CD-ROM 付き
4	AMSTERDAM（アムステルダム） 『アムスは自転車スピードで！』	Web アクセス可
5	WIEN（ウィーン）『冬の夜、ウィーンは踊る』	CD-ROM 付き
6	PRAHA（プラハ）『時に磨かれた静かな生活』	Web アクセス可
7	BERLIN（ベルリン）『街ごと更新中！』	Web アクセス可
8	GERMANY（ドイツ）『ココロにいい暮らし』	Web アクセス可
9	ITALY（イタリア）『陽気がいちばん！』	Web アクセス可
10	TURKEY（トルコ）『ざわめく青に魅せられる』	CD-ROM 付き

アジア

11	SEOUL（ソウル）『ソウルで女を上げる』	CD-ROM 付き
12	BEIJING（北京）『悠久の空に次世代の鼓動』	Web アクセス可
13	SHANGHAI（上海）『ここで未来がはじまっている』	Web アクセス可
14	HONGKONG（香港）『ピカピカほっこの刺激』	Web アクセス可
15	TAIWAN（台湾）『朝ごはんがおいしい街』	Web アクセス可

16	THAILAND (タイ) 『自分も笑顔になれる街』	Web アクセス可
17	VIETNAM (ベトナム) 『素朴なまま洗練された生活』	CD-ROM 付き
18	MALAYSIA (マレーシア) 『世界が融け合うシティ』	Web アクセス可
23	BALI (バリ) 『指先までまどろみ日和』	Web アクセス可
アメリカ・カナダ		
19	TORONTO (トロント) 『ほどよくコスモポリス』	Web アクセス可
20	NEW YORK (ニューヨーク) 『いつも微熱で過ごす街』	CD-ROM 付き
21	HAWAII (ハワイ) 『ずっと住みたくなるリゾート』	CD-ROM 付き
オセアニア		
22	SYDNEY (シドニー) 『青空の下のびのび生活』	Web アクセス可
24	TAHITI&NEW CALEDONIA (タヒチ&ニューカレドニア) 『マイペースを取り戻せ!』	CD-ROM 付き

▼ワーキングホリデー・留学の専門機関「OKC オセアニア交流センター」編のこちらもおおすすめです。

ワーキングホリデー in オーストラリア 名古屋図書館 1F: ブラウジング BROWG/2005

※他に、ニュージーランド、カナダ、韓国、フランス、イギリス、ドイツの各編あり。

「ワーキングホリデーとは何か」といった基本情報から「お金はいくらかかるの?」「あると重宝するものは?」といった実用的な知識までもが詳しくレクチャーされています。経験者の体験記もあり、ワーキングホリデーを考える人には最適の1冊です。

ワーキングホリデー完全ガイド 名古屋図書館 1F: ブラウジング BROWG/2006

毎年出版されている人気のムック本。最新の2006-07年版では、オーストラリア・ニュージーランド・カナダからの体験レポートを紹介。そのほか、1年間という長期滞在ならではの、観光旅行とは一味違った過ごし方ガイドも掲載。

▼留学で失敗しないために…!

語学留学指南：知っておきたい語学留学の幻想と成功条件／本橋幸夫著

名古屋図書館 1F: ブラウジング BROWG/2005

海外留学の理想と現実：知っておきたい!／浅井宏純著

瀬戸図書館 1F: 377.6L/315

「留学期間は同じだったはずなのに、結果に大きな差が生じるのはなぜ?!」留学に成功する人、失敗する人の違いがわかる! 留学を決めたらまず読みたい必読の書。留学を成功させるために何を知るべきか。幻想ではなく、実のある留学計画を建てるために、ぜひ…!

資料紹介〈2〉

『CSR 報告書』

CSR という用語を最近良く耳にしませんか？ えっ、聞いた事がない！！ って人は、ここを読んで少し勉強してみてください。きっと就職活動などで役に立つと思いますよ！

CSR とは “corporate social responsibility” の頭文字をとった表現で、日本語では一般的に、「**企業の社会的責任**」と言われています。しかしながら概念的には決して新しい発想ではなく、以前から企業は、経営理念の中で社会貢献を謳ったりしてきました。でも、これが最近特に問われだしたのはなぜでしょうか？

2001年に米国エンロン社で不正な経理操作が発覚し、結果として超優良企業であった同社もわずか半年もたたないうちに破綻してしまう事件がありました。日本でも耐震強度の偽装問題、食品の虚偽表示、リコール問題など営利至上主義を求め企業倫理をおろそかにしたことにより、社会的批判をあびている例が後を絶ちません。

こういったことから企業のあり方を問うコーポレートガバナンス（企業統治）重視の経営を求める機運が高まってきました。現在では株式市場や格付機関が企業評価の尺度として CSR の視点を取り入れるようになってきており、CSR の理念や行動を取り入れているか否かでその会社の株価や業績に影響が出るまでになっています。

また CSR の定義に関し、国連においては1999年に「グローバル・コンパクト」¹⁾ が提唱され、OECD の世界労働組合会議では「OECD 多国籍企業行動指針（The OECD Guidelines for Multinational Enterprises）」²⁾ が2000年に更新されており、日本では日本経団連や経済同友会などを中心に啓蒙や推進化の動きがあります。ただし、必ずしも各国の間で基準や考え方が定まっておらず、ISO（国際標準化機構）ではこうした状況を受けて2007年をめどに国際規格化作りを進めています。

本学名古屋図書館では、こうした状況も踏まえ国内企業が発行している CSR 報告書を企業ごとに配架し、1階閲覧室の参考図書のコーナーで自由に閲覧できるようにしています。最近ではこういった CSR 報告書は、各企業の Web ページでも掲載しているところが多いようですが、こうした企業の取組みを皆さんが就職活動で企業を選択する際、あるいは面接前にご一読されてはいかがでしょうか。

1)、2) について詳しく知りたい方は、各 Web ページよりサイト内検索してみてください。

また、OECD の出版物は南山大学図書館 Web ページにある電子ジャーナル・データベースの Source OECD で検索できます。

1) <http://www.unic.or.jp/> （国連広報センター Web ページ）

2) <http://www.mofa.go.jp/mofaj/> （外務省 Web ページ）

これを読んで、もっと知りたくなったら以下の資料もぜひご覧ください。

書 名	請求番号
CSR 企業総覧（『週刊東洋経済』臨時増刊）	R/335.3/531
CSR の基礎知識（CSR 入門講座第 1 巻）	335.15K/331/v.1
推進組織体制を構築する（CSR 入門講座第 2 巻）	335.15K/331/v.2
CSR レポートを作成する（CSR 入門講座第 3 巻）	335.15K/331/v.3
CSR 会計を導入する（CSR 入門講座第 4 巻）	335.15K/331/v.4
社会的責任投資（SRI）の基礎知識（CSR 入門講座第 5 巻）	335.15K/331/v.5
CSR：企業と社会を考える	335.15K/332

（Masaki NISHIO：逐次刊行物係 西尾 雅樹）

Essay

図書館に救われて

森 千香子

数年前の夏のこと。大学院生だった私は、すっかり途方に暮れてしまった。うっかり鍵を持たずに外に出てしまい、家から閉め出されたのである。親は夕方まで戻ってこない。妹も大学に行った後、夜までバイトだ。鍵もない、財布もない、ケータイもない。「着の身着のまま」の状態、外に放り出されてしまった。七月半ばの太陽が、呆然と立ちすくむ私の背中をじりじりと焼きつける。だが額に流れた汗はやけに冷たかった。

家のどこかの窓が開いてないか、玄関脇の鉢植えの下に、私が子どもの頃母がそうしたように合鍵が隠してないか、藁にもすがる思いであれこれ当たってみたが無駄だった。越してきたばかりで、近所づきあいもなかった。このまま入ることのできない家の前で立ち尽くし、自分の影ばかり眺めていても仕方ない。私はあてもなく歩き始めた。

近所のコンビニに入る。クーラーの効いた店内を一周し、雑誌コーナーで立ち止まる。週刊誌をパラパラめくったが、内容は頭に入らない。午後のちょうどこの時間は人気がない。おまけに所持金ゼロのせいか、普段は何の躊躇もなくする「立ち読み」さえも、妙に居心地が悪い。十分もしないうちに店を出た。

誰かに十円借りて、友だちか母に電話しようと思いついた。が、次の瞬間ガックリ肩を落とした。携帯に入力した番号を思い出せないのだ。誰かを直接訪ねて行こうにも電車にさえ乗れない。焦りと暑さで喉の奥が干上がっているが、ウーロン茶ひとつ買えない。どうすればいいんだろう…目の前が真っ暗になった。

何ひとつ持たない、私を唯一受け入れてくれたのが地元の区立図書館だった。無料で涼しい部屋に受け入れ、椅子を与えてくれた。給水機の冷たい水で喉を潤すこともできた。こうして私は本棚の間を練り歩き、冷たい椅子に腰掛け、親が戻ってくるまでの数時間を図書館で過ごした。学生時代から調べ物などで図書館を利用することは多かったが、この経験を機に、図書館が少し異なったものに感じられるようになった。同時に、お金がないと図書館以外に行く場所もないという現代社会の「豊かさ」の裏側を垣間見たよう



名古屋図書館 2 階閲覧室

で、つくづく恐ろしくなった。そして、この小さな体験は、その後の私の研究生活に大きな影響を与えている。

教員になり、個人研究室が与えられた今でも、私は図書館が好きで、よく足を運ぶ。特に原稿書きで煮詰まった時など、ノートパソコンと文献一式を鞆に入れ、二階の社会学コーナー近くの窓際に陣取って、夕日がグラウンドの向こうに落ちていくのを眺めている。

(Chikako MORI：外国語学部講師)

名古屋キャンパス

新入生のためのライブラリーツアー

授業の準備やレポート作成に欠かせない図書館。語学勉強や余暇の利用に便利な視聴覚ライブラリー。図書館の達人が資料の探し方や利用のコツなどを実際に館内を案内しながらわかりやすく解説します。これからの学生生活にきっと役立ちますので、ぜひ参加してください!!

開催予定日時

	図書館案内 (所要時間約30分)	視聴覚ライブラリー案内 (所要時間約20分)
	集合場所：名古屋 C 図書館 1 階	集合場所：名古屋 C L 棟 2 階
4月3日(火)	①11:00開始 ②11:30開始	12:00～13:00の間で随時実施
4月6日(金)	①10:30開始 ②11:00開始	11:30～12:30の間で随時実施

南山大学図書館 新入生歓迎企画展

ただいま開催中

「大学図書館ってどんなトコ？」

～ 新入生のための図書館案内 ～

開催期間 2007年4月2日(月)～4月21日(土)

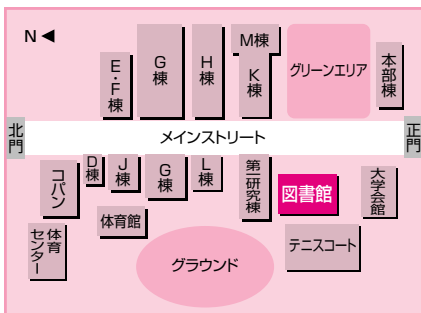
開催場所 名古屋図書館1階、瀬戸図書館ブラウジング・コーナー周辺

これから始まる大学生活にちょっぴり不安を抱いているアナタ。

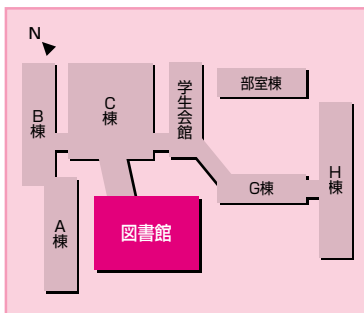
図書館の新入生歓迎企画展では、図書館の利用の仕方や資料の探し方、今後の大学生活に役立つ図書館の活用方法などをご紹介します。この企画展が充実した大学生活を送るための糸口になるかも？ ぜひ一度図書館を覗いてみてください。

《編集後記》

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。図書館でお目にかかりましょう。(中)



<名古屋キャンパス>



<瀬戸キャンパス>

南山大学図書館報 デュナミス No.51

2007. 4. 1 発行

<http://www.nanzan-u.ac.jp/TOSHOKAN/>
 発行：南山大学図書館 広報委員会
 編集委員：竹内、中島、山口
 印刷：一誠社

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18
 Tel: 052(832)3707/Fax:052(833)6986
 ※図書館Webページでもご覧いただけます。